

ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

北海道熊研究会 | Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

<4月4日瀬棚町で女性を襲った熊は、その後、どうなったか>

門崎の見解→ 「捕獲されていないが、その熊はもう、人を襲わないだろう」

(理由)

- ・ この熊について、ここ数日、私がこれまでに、熊を調査研究し、得た資料や体験から得た事を、色々な面から振り返り、検討してみました。その結果、あの熊は人から鉋で血が出るほど、叩かれた事から、人を恐ろしいものと悟ったのではないかと。と言う事です。
- ・ それで、この熊と余程の至近距離(20m以内)で遭遇(不意に出会う事)しない限り、この熊が居る地所に行っても、もう、今後は、人を襲うような、事をしないのでは、ないか、と言うのが、私の現在の結論です。
- ・ あれ以来、あの熊は人と遭遇し難い、地所に行き、人を避ける生活に移行したのでは、ないかと言う事です。それ故、あの山をよく識る猟師やヘリコプターまで出して捜索しても、見つからない所為だと言う事です。この予見は外れるかも知れませんが、私は現時点で、強くそう看取しています。
ですから、この熊を、最早や執拗に追跡し、殺すべきではないと。言う事です。
- ・ この熊の年齢ですが、昨年4月時点で、猟師は3歳ぐらいと、言っていたとの事を、現場に行った報道人から聞きましたので、それが当たれば、今は4歳です。
4歳だとすれば、身体の大きさは、雌雄で差がありますが、雄は雌より大きいのですが、足の横幅は13cm前後、体長は1.6m前後では、ないかと看取しています。DNA分析したのであれば、雌雄が判別し得ますが、性別も、足跡の横幅が何cmだったのかも(横幅で熊のおよその大きさ、性別が分かる場合がある)報道されていないようですね。

事件の顛末外、以下は 24 号からの、再録です

<4月4日瀬棚町で「アハサギ A.victoralis」採りの女性が熊に襲われ、同行の男性が、鉈で熊を叩き、難を逃れる>

苫小牧在住の 45 歳の女性と 60 代の男性が、4 月 4 日、午後 2 時頃、瀬棚町太田の山林で、アハサギを採り、帰路を歩いていたところ、突然背後から熊が現れ、女性に襲い掛った。女性は咄嗟に右手で、熊を除けようとしたとたん、熊は女性の上腕部を「咬んだ（引っ掻いたのではないらしい）。連れの男性が咄嗟に、携帯していた鉈で熊に立ち向かい、鉈で熊を叩きつけたところ(部位は不明、その後、鼻先と言う)、熊はすぐに逃げた、と言う。男性は勢い余って、鉈で自分の脚部を傷つけた(らしい)[以上、瀬棚警察署の話、門崎が聴取]。

<山菜採りし得る所は熊の生活地であることを肝に命じる事>

ハンター以外の一般人が、北海道で熊に襲われた人身事故は、1970 年以降今日まで、年平均 1 件である。それも、ホイッスル(百円ショップで売っている)を時々吹きながら歩くことで、不意の出会いでの事故は防げる。極めて稀に今回の様に熊が襲って来る事があるが、これに対しては反撃以外手立てはない。死んだふりは論外(道庁のパンフレットでは、死んだふりを推奨し、新聞テレビに度々出て来る熊研究者の道職員の間野勉はそれを推奨しているが「私は妄言と言いたい」理由は意識ある状態で、熊に爪や歯で引っ掛かれ齧られていて、それに我慢出来る人間などいない)。熊に人が襲われれば、その熊は殺されているのが実態である。熊がいる可能性が少しでもある場所に行く場合には、自己責任で用意ばんたんのもと、入域し、己の不注意、不用意で、自然(熊)に迷惑掛けてならないと言うのが私の主張。

<今回の加害熊は昨年(2013年)4月16日、同町の西和子さん(52歳)を襲い殺し、四肢(手足)の筋部を喰った熊と同一個体だと言う>

その根拠は、昨年現場で見つけた熊の毛と今回現場で採取した熊の血痕の DNA が一致したからだと言う：北海道新聞 4 月 7 日夕刊掲載)。昨年の記録では、襲った熊は単独個体で、「ハンターの見解」では加害熊は年齢 3 歳程であろう、と言うとある(本会報の 8 号に掲載)。とすれば、今は 4 歳程である。報道では、体長 2m 程と言うが、そのような大きな熊は道南には居ない(門崎の見解：道南の熊は道東・道北の熊に比べ、身体が小さい)。

<以下は門崎のコメント>

熊が人を襲う原因は①排除、②喰うため、③戯れのため、であるが、今回この熊が人を襲った原因は不明である。熊は今回這った状態で被害者を襲った可能性がある。その理由は、昨年の経緯から今回の熊は 4 歳程の若い熊である。4 月 4 日と言う日にちは、この熊にとっては、穴出後数日しか経ていない状況にあり、そのような熊は未だ立ち上がって人を襲う筋力が充分付いて居なく、通常這った状態で、人を襲うのが通例である事による。

(丁)